

立命館大学とパナソニックが大学から企業への クロスアポイントメント制度適用を国内で初めて実施

学校法人立命館とパナソニック株式会社（以下、パナソニック）は共同で、2017年度より、産学官連携の高度化を実現するため、機関を越えた人材交流を目的とするクロスアポイントメント制度*1（以下、本制度）を導入いたします。本制度を活用して、大学教員が民間企業に勤務するのは日本で初めて*2となります。

*1 クロスアポイントメント制度：他大学、公的研究機関、企業等の他機関との組織間の取り決めに基づき、大学教員が大学内で従事する教育、研究、社会貢献等その他の業務のうち、研究に関する一部業務を他機関での研究活動に充て、大学と他機関の双方で研究活動を行う在籍外向型の制度

*2 2017年3月31日現在、学校法人立命館、パナソニック調べ

具体的には4月1日から立命館大学 情報理工学部の谷口忠大准教授（以下、谷口氏）が、大学に在籍したまま、パナソニックのビジネスインノベーション本部に客員総括主幹技師として勤務いたします。勤務形態としてはパナソニックへの従事比率を20%としています。

本制度を通して、成長と注目が目覚ましい人工知能（AI）・ロボティクス分野において、谷口氏が新規技術に関する知識提供を行うとともに、同分野における新規事業の創出にむけた技術戦略の策定に協力いたします。

また、パナソニックが重点をおくIoT/ロボティクス分野での共創活動を行うと共に、立命館大学や学会関係者を中心としたコミュニティ作りへの支援や関連テーマの研究会活動を通じた人材育成にも取り組みます。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。